



GW(ゴールデンウィーク)を有意義に

今日からいよいよ5月になりました。明後日からはGWの後半が始まり、5連休となります。4月の1か月でようやく新学年のリズムができてきたところだと思いますが、この連休によってリズムを崩さないように規則正しい生活をしながら、有意義で楽しいGWにしてください。そしてそれが終われば、1年生は一泊移住、2年生は校外学習、3年生は修学旅行と大きな行事が待っています。それぞれが成功するように頑張っていきましょう。

GWについて少し説明します。

ゴールデンウィークは、日本において毎年4月末から5月初めにかけて休日が続く期間のことで春の大型連休、黄金週間ともいいます。

1948年の国民の祝日に関する法律施行により4月29日から5月5日までの期間に休日・祝日が集中し、この期間(平日や土曜日も含む)がゴールデンウィークと呼ばれるようになりました。この期間は、4月29日(昭和の日)・5月3日(憲法記念日)・5月4日(みどりの日)・5月5日(こどもの日)が国民の祝日となります。5月1日がメーデーのため休日になる会社(従業員)も少なくないことから、間の平日を休みにすることで長期連休にしている企業も増えてきました。以前は休日が飛び飛びになることが多かったことから「飛石連休」という言い方もされていました。1985年(昭和60年)の「国民の祝日に関する法律」(以下「祝日法」という。)の改正で5月4日が日曜日や振替休日でなくても「国民の休日」になってからは、この言い回しは少なくなってきました。また、2005年(平成17年)に行われた祝日法の改正により、休日の名称および振替休日の規定が変更されたため、憲法記念日やみどりの日が日曜日と重なった場合、「こどもの日」の翌日にあたる5月6日が振替休日になり、その分ゴールデンウィークも延びることとなりました。



もう一つ、今日の全校集会でお話したのは、校長先生が聞いたうれしい言葉です。先週、学校協議会という会議を横堤中学校で行いました。地域の方や小学校の校長先生、PTAの方、区役所の方たちに横堤中学校の現状や今年度取り組んでいく目標を聞いていただき、助言をいただくという会議です。その中である女性の方でみんなからすれば、おばあちゃんにあたるような方が、「久しぶりに学校に来たけれど、出会った女子生徒が”こんにちは”とさわやかに挨拶をしてくれて、とてもうれしかったし、安心しました」とおっしゃいました。その言葉を聞いたとき、校長先生は本当にうれしく思いました。排球部と書いてあったらしく、女子バレー部の生徒だと思います。この**あいさつ**のことは生徒10カ条にも部活動8カ条にも含まれています。そのくらい大切なことだということです。朝、校門に立っていても大半の人が挨拶をしてくれます。

「おはようございます」と返してくれる人、目を見てしっかり挨拶してくれる人、会釈してくれる人、さらにはにっこりと微笑みながら「おはようございます」と最上級の挨拶をしてくれる人。また中には「校長先生、おはようございます。」と名前を添えてくれる人と様々です。しかし、残念ながら恥ずかしいからか、知らん顔をして通り過ぎる人もいます。最初は挨拶も先生や親、部活動の中でやらされていた人も多いと思います。しかし、それが定着してくると自然と自分の意志であいさつできるようになった人も多いと思います。今回のバレー部の生徒もきっとそうだと思います。**たった一言の「こんにちは」で来校された方をうれしい気持ちにさせた**のです。そのくらい**挨拶は人との人間関係を良好にする魔法の言葉**であると思います。

あいさつ(挨拶)の「あい」には、心を開くという意味、「さつ」には、その心に近づくという意味があります。要するに、あいさつとは、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為のことです。だからこそ、相手の目を見て、明るく、元気よく、心を込めてするのが挨拶の基本です。

また、挨拶のしかたによって、常に自分や学校、所属クラブが評価されていることを忘れてはいけません。さあ！心を開き、相手を敬う気持ちを忘れず、学校中に明るい挨拶の音が響き渡るようにしていましょう。